

Interview

川路ゆみこ先生

京都市生まれ。結婚をきっかけに幼い頃から好きだったニットを本格的に学び、次男を出産後フリーのデザイナーとして仕事を始める。著書に「オーガニックコットンで編む可愛いベビーニット」「ベビーニットでかわいい動物さんになれ！」（以上 主婦の友社）他多数。大阪府吹田市在住。



その子のことを考えて編んでいるときの幸せな時間を経験して、感じてほしい

ベビーニットの魅力とは？

私が妊婦さんの時は、生まれてくる子供のことを考えながら、その子のために何かつくることがとても幸せな時間でした。まだ見ないわが子に対する愛情は、そういうときにすごく溢れてくるのです。おなかの中でコトコト動いているこの子に話しかけながら、生まれてくることを想像しながら作ってあげる。そういう気持ちは、本当に人を愛する根本的なこと、無償の愛じゃないかなと思います。

ニットは、布と違ってあみ直しができるし、多少寸法がずれてても着た時に体にそってくれます。特に赤ちゃんは、絶対きちっと着こなしてくれるから。だからどんなものでもいいのです。既製品みたいにきれいにできなくても、作ってあげたものは愛情の塊みたいなものだから、そういうものを着ている赤ちゃんはとても幸せだなと思います。そして子供が大きくなったとき、お母さんがこんな風に愛情を持って、生まれてくるのを待ってくれたということが、再確認できるものになるのではと思っています。

いざ子どもが生まれてからは、もう育児でてんてこ舞いになるほど忙しいです。でも、ただしんどいだけで育児が流れていくのではなくて、育児をしている時の記念ではないけれど、その時に何か編んであげていると、それが記録として残っていきます。編んだものを見るだけで、あの時泣いてたよね、お昼寝の時にちょっと時間を作って編んであげたよね、とその時の記憶がよみがえります。

だから編み物は、その時の記憶も想いもすべて、作ったものの中に込められていく気がします。そばに編み物があれば、その時の育児の大変さも、振り返ったときの温かい思い出になっていくから。自分のためにも、子供のためにも、そういった余裕をもてるといいですね。

「ねんね」を編んでみて

とにかく柔らかいのです。肌触りが良くて、アンゴラのようなやわらかい感じがして、肌にやさしいと思います。最初、編みあがりはもっとくたっとなるかと思ったのですが、実際に編みあがってみると、割としっかりしていて、赤ちゃんだけではなく、もっと大きい子や大人のアイテムにも使えるのではと思います。カラーも今までと違い、濃い色もあっておしゃれな感じですよ。

これから「ねんね」で編み物をされる方には、この素材感の良さを生かして、ぜひ直接肌に触れるものを編んでいただきたいです。生まれたての赤ちゃんの肌に触れても大丈夫だから、おなかの子が生まれてきたときに着せてあげる、胴着やおくるみなどがいいのではと思います。まさに高級ベビーヤーン。このやわらかさに、まず触れてみてください。



ハマナカ株式会社

〒616-8585 京都市右京区花園藪ノ下町2番地の3 TEL.075-463-5151(代)

ハマナカコーポレートサイト www.hamanaka.co.jp 手編みと手芸の情報サイト「あむゆうず」 www.amuuse.jp メールアドレス info@hamanaka.co.jp